

## 第3回勉強会を開催しました！

開催日時：令和4年2月14日（月）18:00～19:15

開催場所：オンラインによる開催（ZOOM）

参加者：21名（傍聴者：12名）

### レクチャー

20年後の下丸子駅周辺地区について意見交換を進めるにあたり、全体コーディネートを務める（一社）おたくりエイティブタウンセンター（以下、「OCTC」とする。）野原センター長と事務局より、連続立体交差事業とまちづくりの事例や、20年後に想定される社会動向についてレクチャーを行いました。

#### （1）レクチャー①「連立事業とまちづくりの事例紹介」について／事務局

20年後の下丸子駅周辺地区の姿を検討する材料として、第2回勉強会で頂いた今後のまちづくりに対する意見の内容を実現している先進事例を紹介しました。

第2回勉強会で頂いたまちづくりに対する意見	紹介した先進事例
① 踏切の解消 + 安心して歩ける空間の創出	・石神井公園駅周辺（東京都／高架化）
② 鉄道とバスの結節機能を有した駅前広場の創出	・石神井公園駅周辺（東京都／高架化） ・国領駅周辺（東京都／地下化）
③ 人がたまり、くつろげる場所の創出	・姫路駅周辺（兵庫県／高架化）
④ 町工場やまちの歴史など 地域特性を活かしたまちづくりの推進	・梅森プラットフォーム（東京都／高架化） ・2k540 AKI-OKA ARTISAN（東京都／高架化） ・黄金町駅周辺（神奈川県／高架化） ・ののみち（東京都／高架化） ・柏の葉かけだし横丁（千葉県／高架化） ・下北線路街（東京都／地下化）

■石神井公園駅周辺



出典：練馬区資料

■姫路駅周辺



出典：兵庫県資料

■梅森プラットフォーム



出典：事務局撮影

<レクチャーの概要>

- ▶ デジタル社会が進展し、人・モノの移動が自動化・無人化するなど道路の景色は大きく変わっていること (右図)
- ▶ 車中心から人中心の居心地が良く歩きたくなるまちなかが形成され、公共空間(みち)の使い方が変わっていること
- ▶ 駅を重要な都市資源と捉えながら、まちと一体で考え、駅前空間の価値を最大化すること
- ▶ 先端技術とモノづくりが掛け合わさった「クロステック」がまち・経済を動かすこと 等

■2040年、道路の景色が変わる 出典：国土交通省

**2040年、道路の景色が変わる** ～人々の幸せにつながる道路～

◆意義・目的

デジタルトランスフォーメーション(DX) 人口減少社会 道路政策の転換は「人々の幸せの実現」

◆基本的な考え方

- SDGsや「Society 5.0」は「人々の幸せ」の追求を目指す
- 道路政策の転換は「人々の幸せの実現」
- 移動の効率性、安全性、負担軽減等の社会的課題
- デジタル技術を活用して道路を「進化」させ課題解決
- 道路は人々、子供が遊び、市民社会を創る場の人々の交流の場
- 道路にコミュニケーション空間としての機能を「加味」

道路政策を通じて実現を目指す2040年の日本社会の姿と政策の方向性を提案するビジョンを策定

◆道路の景色が変わる ～5つの将来像～

1. 道路・摩耗ラッシュが激減
  - ・テレワークの普及により通勤需要が減少
  - ・高齢者の高齢化に伴って移動手段が減少
  - ・災害発生時の避難需要の減少
2. 公園のような道路に人が溢れる
  - ・歩道、自転車道、歩道橋の整備
  - ・道路が「コミュニティ空間」として機能
  - ・歩道・自転車道の整備
3. 人・モノの移動が自動化・無人化
  - ・自動運転サービスの普及によるドライバーの減少
  - ・無人配送の普及による物流効率の向上
  - ・無人バス・無人タクシーの普及
4. 店舗(サービス)の移動でまちが賑々しくなる
  - ・移動型店舗の普及によるまちの活性化
  - ・移動型店舗の普及によるまちの活性化
  - ・移動型店舗の普及によるまちの活性化
5. 「被災する道路」から「賑々しくなる道路」に
  - ・災害発生時の避難需要の増加
  - ・災害発生時の避難需要の増加
  - ・災害発生時の避難需要の増加

20年後の下丸子駅周辺について意見交換

<意見交換で頂いた意見>

- 20年後のまちづくりを考えていく上で、昔からの歴史・文化を残しながら、新しい住民にも理解・認識してもらうことが新旧住民が共存していくために必要なこと。
- 空間は造ったがあまり使われていない様な寂しいものになってしまってはいけない。
- 駅とまちは一体的な空間として整備すべきもの。
- 下丸子らしさをどう活かすかが課題。町工場の存在等の地域の歴史を捉えるということはヒントになる。
- 歴史を活かすことも然り、新たに生まれる空間をどう使うか、皆さんと一緒に考えていく必要がある。



<勉強会の様子>

第4回勉強会の開催について

テーマ：『駅周辺のまちづくりの方針を考えよう！』

開催時期：令和4年5月ごろ(予定)

場所：未定

※詳しい日程や会場が決まり次第、区HPでお知らせいたします。勉強会の傍聴も可能ですのでお気軽に以下の問い合わせ先までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

大田区 鉄道・都市づくり部 鉄道・都市づくり課(担当:林、今村、工藤)

TEL: 03-5744-1212(直通) FAX: 03-5744-1526

E-mail: kaihatu@city.ota.tokyo.jp

下丸子駅周辺のまちづくり  
の詳細は区HPをご覧ください  
区HPはこちらから⇒

